

1 . 接続詞の種類

接続詞は語と語、文と文とを結合するものです。

A の文と B の文、二つの文があるとします。

接続詞を使い、この二つの文を結合し、一つの文にすることを考えてみましょう。

まず B の文を A の文の一部になるような仕方で、埋め込むことが考えられます。

つまり、A の文に依存するような仕方で、B の文を A の文に結合するわけです。

例えば次の例のように、B の文が A の文の目的語になるような場合です。

Ich weiß nicht, **ob** er jetzt zu Hause ist. (彼が今家にいるかどうか、私は知らない)

上の文章で <ob er jetzt zu Hause ist> は目的語として <Ich weiß nicht> に埋め込まれているわけですね。

こうした場合、埋め込まれる文 (<ob er jetzt zu Hause ist>) は**副文**とよばれ、一方 <Ich weiß nicht> は**主文**とよばれます。

また、<ob> のように、主文に依存するような形でもう一つの文を結ぶ接続詞は**従属の接続詞**とよばれます。

もう一つの結合の仕方が考えられます。これは二つの文を対等な関係で結ぶことです。次の文を見てください。

Er liebt sie, **aber** sie liebt ihn nicht. (彼は彼女を愛しているが、彼女は彼を愛していない)

このように二つの文を対等な関係で結ぶ接続詞は**並列の接続詞**とよばれます。

2 . 従属の接続詞

副文を作る従属の接続詞で一番重要なことは定動詞の位置です。

Ich habe so große Ohren, damit ich dich besser **hören kann**. (お前のことばがもっとよく聞こえるように、こんなに大きな耳をしているのさ)

damit で始まる文は副文なので、hören kann は文末へおかれます。

副文では定動詞は文末に置かれます。

主文			副文			
Ich	habe	so große Ohren	damit	ich	dich besser	hören kann

主語	動詞		接続詞	主語		動詞
----	----	--	-----	----	--	----

また、**分離動詞**も副文では分離しないで、一語で書かれます。

Jeden Tag **steht** er um 5 Uhr **auf**. (毎日彼は5時に起きる)

Ich weiß, **dass** er jeden Tag um 5 Uhr **aufsteht**. (彼は毎日5時に起きることを私は知っている)

・従属の接続詞には次のようなものがあります。

(1) 「理由」を表す

Er bleibt zu Hause, **weil** er Deutsch lernen muss. (ドイツ語を勉強しなければなら**ないので**、彼は家にいる)

Da es heute schneit, bleibt er zu Haus. (今日は雪が降っている**ので**、彼は家にいる)

<weil>も<da>もどちらも「理由」を表しますが、<da>は聞き手も既に知っている理由「雪が降っている」を挙げるのに反して、<weil>は聞き手が知らない理由を挙げる時に用いられます。

(2) 「～した(する)時」を表す

Wenn ich sie besuche, liest sie immer Romane. (彼女を訪問**すると**、彼女はいつも長編小説を読んでいる)

Wenn das Wetter schön war, spielten wir Tennis. (天気がいい**ときには**、わたしたちはいつもテニスをした)

war < sein の過去形、spielten < spielen の過去形

Als ich sie besuchte, lag sie krank im Bett. (彼女を訪問した**とき**、彼女は病気で臥せていた)

besuchte < besuchen の過去形、lag < liegen の過去形

<wenn>も<als>も「時」を表します。

<als>は**過去**に起きた一回限りの行為を表すのに対して、<wenn>は「～する時はいつも」といったように反復された行為を表します。

*ここに挙げられている文の場合のように副文が主文の前になると、主文の語順は<定動詞>+<主語>の語順になります。

本来文頭には主語が置かれるわけですが、この場合のように副文が文頭に置かれると、<定動詞>+<主語>の語順になるわけです。

副文	主文
----	----

Als	ich	sie	besuchte,	lag	sie	krank im Bett.
接続詞	主語		定動詞	定動詞	主語	

(3) 「時間 (~する前、~した後、~するまで、~して以来) 」を表す

Bevor du isst, musst du dir die Hände waschen . (食事をする**前に**、手を洗わなければならなかった)

Nachdem er gegessen hatte, legte er sich hin. (食事をした**後で**、彼は横になる)

Bis es dunkel wird, bin ich wieder zurück. (暗くなる**までには**、戻ります)

Er fährt nicht mehr Auto mehr, **seit** er einen Unfall hatte. (事故に遭って**以来**、彼はもう車を運転しない)

★ hatte は haben の過去形

(4) その他

Obwohl er Fieber hat, arbeitet er den ganzen Tag. (彼は熱があるにもかかわらず、一日中働く)

Während sie arbeitet, sieht er fern. (彼女が仕事をしている**間**、彼はテレビを観ている)

schien、lagen は過去形。

Ich weiß, **dass** er krank ist. (彼が病気であることを知っている)

Ich habe so große Augen, **damit** ich dich besser sehen kann. (お前のことがもっとよく見えるようにと、こんなに大きな目をしているのさ)

(5) 従属の接続詞としての疑問詞の用法

疑問詞で導かれる文が副文になるとときには、疑問詞が従属の接続詞の役割を果たしますので、定動詞は文末へ置かれます。注意しましょう。

Wo wohnt Jochen jetzt? (ヨッヘンは今どこに住んでいるのか)

-> Ich weiß nicht, **wo** Jochen jetzt wohnt. (ヨッヘンは今どこに住んでいるのか、私は知らない)

Was studiert er? (彼は何を専攻しているのか)

-> Ich weiß nicht, **was** er studiert. (彼は何を専攻しているのか、私は知らない)

3 . 並列の接続詞

並列の接続詞が文と文の間におかれるとき、接続詞に続く文は語順の影響を受けません。

Er ist sehr fleißig, **aber** sein Bruder ist faul. (彼はとても勤勉だ、**しかし**彼の弟は怠け者だ)

Ich bleibe zu Hause, **denn** es regnet. (雨がふっている**ので**、私は家にとどまる)

Er spielt Klavier **und** seine Frau spielt Geige. (彼はピアノをひく、**そして**彼の妻はヴァイオリンをひく)

Kommst du mit, **oder** bleibst du da? (一緒に来るかい、**それとも**そこに残る?)

4. 接続詞的な機能をもつ副詞

次の表のものがああります。これらが文頭にくると、定動詞+主語の語順になります。

dennoch	それでも	daher	だから
darum	そのために	da	そこで
dann	それから	also	したがって
trotzdem	それにもかかわらず	deshalb	それゆえ
sonst	そうでなければ	doch	けれども

Er war krank und konnte **daher** nicht kommen. (彼は病気で、**だから**来られなかったのだ)

Er schickte ihr Blumen, **also** liebte er sie. (彼は彼女に花を贈った、**だから**彼女を愛していたのだ)

schickte < schicken , liebte < lieben ,はそれぞれ過去形。

(3) 熟語

Sie ist **nicht nur** schön, **sondern auch** klug. (彼女は美しい**だけではなくて**、賢く**もある**)

Er kommt **nicht** heute, **sondern** morgen. (彼が来るのは**今日ではなくて**、明日だ)

Er trinkt **weder** Bier **noch** Wein. (彼はビール**も**ワイン**も**飲まない)

Er ist **zwar** tüchtig, **aber** arrogant. (彼は**確かに**有能**だけれども**、傲慢だ)